

令和7年度 金木地域住民懇談会② 案件・回答

開催日時：令和7年10月1日（水） 18時00分～19時10分

開催場所：嘉瀬コミュニティセンター

参加住民：20名

出席議員：和田祐治議員、秋田幸保議員、藤森真悦議員、伊藤永慈議員

懇談テーマ：

未来へつなぎたい・守りたい地域の強みについて ～2040年に向かって～

【今後の人口推移とまちづくりの理念について説明】（ふるさと未来戦略課長）

【意見等】

①テーマに関するもの

Q) 子どもたちに地域の伝統・文化への関心・意欲を持ってもらうために、学校教育の中に、もっと金木の郷土芸能を取り入れてほしい。

A) 教育長：学校における教育活動は、「学習指導要領」という国が定めた基準の中で行われています。その中でほとんどを占めるのが「教科」であり、各学年で何を扱うかが全て定められています。「教科」以外は「総合的な学習の時間」として、「教科の枠には入らないが大切である学び」ができるようになっており、学習指導要領の中で唯一学校の裁量に任せられているものとなっています。

教育委員会では学校に対して、郷土の自然や歴史、伝統などを学ぶ機会を積極的に設けるようお願いしています。このように、「総合的な学習の時間」において探究的な学びや調べ学習を行い、教科ではできない様々な学びを進めるようにとはお願いできるのですが、特定のものを扱うようにと指示することまではできかねます。

しかしながら、私共も、奴踊りや荒馬など素晴らしい活動があることをPRしながら機運を盛り上げていきたいと思っていますので、引き続き子どもたちのためにお力を貸していただければ幸いです。

A) 市長：イベントの中で紹介したりオープニングに使用したりするなど、行政の取組においても地域の伝統・文化を取り入れられるように、できる限り配慮していきたいと思っています。

子どもたちに自分たちの地域の伝統・文化に対する自信や誇りを持ってもらうため、教育委員会だけでなく行政も一緒になって、市全体で働きかけをしていきたいと思っています。

Q) 地域にある文化財や名所を守るために、例えば金木町・中泊町・つがる市の3市町合同で、「津軽半島の観光名所」のような観光ルートを作るなどといった、市や町をまたいで合同で観光客を呼び込むような計画を立ててほしい。

A) 市長：市では観光分野に絞って地域おこし協力隊を2人募集し、五所川原市観光協会とタイアップしながら、地域観光の発信、新たな観光コンテンツの造成に取り組む計画を協議しています。

また、国の制度も使いながら、多言語への対応、観光ガイドの育成などを行い、地域の特色を活かした経済として観光分野に取り組んでいきます。

来年度は観光の新たなスタートの年と位置付け、力を入れていきます。訪れた観光客を地域でつなぐために、地域全体でサポートやサービスを行うまちづくりを一緒にしていきたいと思っていますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

Q) テーマについて、「2040年」と設定している意図は何か。

A) 市長：五所川原市全体の高齢化率が50%に達するのが2040年です。それが地域に大きな影響を及ぼすことを前提としながら、将来に向けて何ができるかを一人一人が自分ごととして考えていく必要があります。

総合計画では令和7年度からの5年間でやるべきことを示していますが、最終的に見据える将来像は2040年のものということから、今回のテーマを設定しています。

②テーマ以外のもの

Q) 五所川原市では、ふるさと納税に関してどのような考えを持っているのか。

A) 財政部長：地域の米やリンゴを中心に、全国の方に五所川原市をアピールしていきたいと思っています。

A) 市長：納税額を増やすことだけでなく、地域の方々がふるさと納税をひとつのきっかけとして自分たちで新たなものを作り、それを生業につなげられるようにすることを重視して取り組んでいきます。

要望) 津軽三味線全日本金木大会のスケールを大きくしてほしい。金木公民館代替施設も、それに対応できる施設にしてほしい。

要望) 斜陽館や旧西沢家住宅など、ハード面の整備を早急に手がけてほしい。

Q) 今の段階で、金木公民館代替施設の建設は何年度になる予定か。

A) 総務部長：令和８年度に現在ある自然休養村管理センター等を解体、併せて実施設計を行い、令和９年度に建設、最終的には令和１０年度に使用可能となる方向で現在は考えておりました。

Q) 金木に誘致企業を整えてほしい。そういった計画はあるのか。

A) 市長：十分な人材の確保が困難な点から、今ある誘致を充実させることを考えており、新たな誘致や工業団地の造成は考えておりません。

要望) 金木公民館代替施設について、計画が狂って縮小することがないようにお願いしたい。